

展示 2 屋外

【多摩森林科学園年報 36 号:P58-59】

樹木園展示のリニューアル「森のポスト」

2013 年 多摩森林科学園



第 2 樹木園に展示していた「私はだれでしょう？」をリニューアルし、「森のポスト」を整備しました。「森のポスト」は、樹木園にある身近な 10 種類の展示木に設置し、葉、花、実、木材の解説パネルと、その樹木の利用等を実物や模型で伝える森のポストで構成されています。通常の来園者には、案内パンフレットを用意し、セルフガイド式に散策しながら楽しく学べるようにしています。また、学校等による利用の場合には、ウォークラリー式に 1 巡して学習するためのワークシートや指導者(教員)用のマニュアルも用意しています。「森のポスト」の展示内容は、次の通りです。

1. シダレザクラ・サクラを使った伝統工芸品

サクラの樹皮を磨くと、美しいつやと模様が出ます。樺(かば)細工は、このサクラの樹皮を活かした伝統工芸品です。茶筒やお盆、小箱などの日用品が有名です。樺細工は美しいだけでなく、中に入れた物を湿気から守ります。ヤマザクラの樹皮と樺細工を比べてみましょう。

2. イチイ・ひな人形のおびなが持つのはイチイの笏(しゃく)

笏(しゃく)は、神職がお祓いなどの儀礼の際に持つ、細長い板です。主に、イチイの木でつくられています。昔は神職だけでなく官人が使い、式次第などを忘れないよう裏に貼りました(笏紙)。やがて、持つ人の威儀を表すようになりました。

展示 2

【多摩森林科学園年報 36 号:P58-59】

3. コナラ・コナラは燃料だった(展示物:丸太と炭)

昔の燃料は、石油でなく木材でした。山奥で伐った木は、山の中で焼いて軽い炭にしてから持って帰りました。里山に生えるコナラは、燃料によく使われました。そのままの木と炭の重さを比べてみましょう。

4. ブナ・ブナは使えない木だった(展示物:サラダスプーン, サラダフォーク)

ブナの木材は、腐りやすかったり、大きくゆがんだりしてしまうため、使えない木だとされてきました。乾燥の技術が発達した今では、模様の美しさを活かして家具などに使われています。どんな模様に見えるかな？

5. ヒノキ・水回りに強いヒノキ(展示物:風呂桶の模型)

ヒノキの木材は湿気に強く腐りにくい、独特の香りを持った美しい木材です。これを活かして、風呂桶などの水回り、まな板などの台所用品に使われます。耐久性や美しさから、建築材としても最高と言われています。

6. カツラ・長生きの秘訣は、「萌芽」(展示物:萌芽の模型)

カツラは、萌芽(わき芽)を出す力が強い木です。萌芽をくりかえすことで、たくさんの幹が立つ大きな木になり、千本桂(せんぼんかつら)などと呼ばれます。もとの幹が枯れても、萌芽した幹が後を継ぐため、長い間生き続けます。萌芽のようすを観察してみましょう。

7. スギ・手間ひまかける磨丸太(展示物:磨き丸太)

磨丸太は、和室や茶室に使われます。しっかり枝打ちをした木を伐採して、樹皮を剥いて乾燥させ、細かい砂などで磨きます。手間ひまかけることで、美しい磨丸太になります。磨丸太をさわってみましょう。

※スギ玉のミニチュアも展示しています。



スギ玉(ミニチュア)展示

8. ケヤキ・風の力で飛んでいく工夫(展示物:結果枝)

ケヤキの実(カシ)は、葉がついた小枝(結果枝)ごと落下します。このとき、葉が羽のような役割をするため、風の力で遠くへ飛んでいくことができます。結果枝のすがたを、観察してみましょう。

9. クリ・クリが電車を支えている(展示物:線路と蒸気機関車の模型)

クリの木材は、とても長持ちです。特徴:水に強い、腐りにくい、重く堅い。利用:線路の枕木(雨風にさらされても、重い電車が通っても耐えられます)。建物の土台(とても丈夫なので、建物を支えることもできます)。

10. シラカシ・工具の柄は桎(カシ)の木(展示物:ハンマーの模型)

シラカシの木材は堅くて重く、とても丈夫です。この丈夫さを活かして、工具の柄などに使われています。シラカシの柄を手にとって、重さを感じてみましょう。

(大石 康彦)